



出前授業・体験学習について

<趣旨>

当研究所の普及啓発事業の一環として、楽しく考古学や歴史に親しんでいただけるように、小学校・中学校へ出向いて授業を行ないます。

<メニュー>

A. 歴史授業

学校周辺の歴史を発掘調査などの成果をふまえながら紹介します。プロジェクターなどを使い、学年に応じてわかりやすく説明します。また、実際に出土した土器や石器などの遺物に触れていただきます。



B. 遺跡見学

京都市内の遺跡を案内します。



C. 古代体験

疑似体験を通して学校で学習した内容をより身近に深めることを目的とします。

①火起し

昔行なわれていた方法（舞錐法、^{磨いすり}弓錐法、^{捻みすり}火打ち石など）で実際に火を起してもらいます。



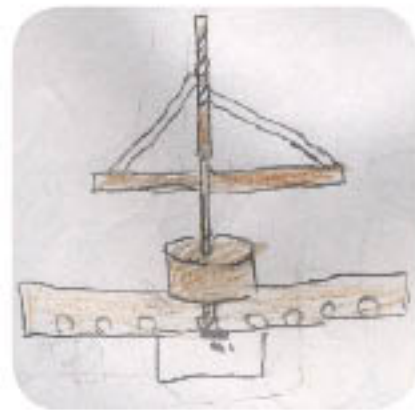
弓錐法で使用する道具



二人1組になって火起しに挑戦します。



横木を上下に動かして軸棒を回転させ、熱を発生させます。



舞錐法で使用する道具



火打ち石を使ってみます。
火打ち金を石にぶつけて火花を火口に落とします。

②あんぎん編み体験と衣装の試着

縄文時代から行なわれていた布を編む技術です。廃材などを利用した編み機で実際に編んでみます。



あんぎん編み機



縦糸を巻き付ける菰槌（こもつち）

あんぎん布で作った縄文風衣装を試着し、勾玉などの装飾品を身に付けてみます。



復元した櫛

③あんぎん編みでコースター作り

横糸を縦糸で前後からはさんでいきます。



④土器で炊飯

実際に土器を使って、古代米を炊飯したり、どんぐりを煮たりして試食します。



⑤どんぐりクッキー作り

石皿を使ってどんぐりを粉にし、たき火でクッキーを調理、試食します。



古代米はひとくちおにぎりにして
試食します。
どんぐりクッキーも評判です。

⑥土器に文様を付ける

縄文土器や弥生土器の文様がどのようにつけられたか、復元した文様の原体を使って粘土板に文様をつけてもらいます。



⑦石器の切れ味体験

石器の材料となった石材（サヌカイト・黒曜石）で紙や木を切って、どの程度の切れ味があるか試してもらいます。



⑧石器作り

勾玉を中心に他にも石包丁などの石器を作ってみます。



⑨土器作り

縄文土器や弥生土器を実際に作ってみます。



まず、実物をよく観察します。



粘土ひもを積み上げていくところ。



作業中は底部に葉っぱを敷いて土器を回転させます。



数週間、乾燥させた後、焼成します。

⑩ 竪穴住居作り

実物の2/3のサイズで竪穴住居を復元します。



1、住居の輪郭を決め、地面を掘り起こし、周囲に壁を造り、溝を掘込みます。柱の位置を決め、柱穴を掘ります。



2、柱を立て、桁と梁をかけます。



3、棟木をのせ、骨格を作ります。



4、垂木をのせます。

5、垂木の上に屋根材をかけます。



できあがり！

D. 考古学に挑戦

実際に考古学で行なっている作業を体験します。

①土器の復元

遺跡から出土した土器の破片を、元の形に復元してもらいます。



②拓本（墨で文様をうつし取る）

遺跡から出土した瓦などから、拓本をとります。



③発掘体験

発掘現場で実際に遺跡を掘る体験です。



土の色・質の違い、そこに残された遺構や遺物の意味を考えながら地面を掘りましょう。

<メニュー一覧>

- A. 歴史授業 学校の授業時間内で出土遺物に触れながら地域の歴史を学びます。
- B. 遺跡見学 半日から一日かけて学校周辺の遺跡を踏査します。
- C. 古代体験

	体 験	時間(めやす)	備 考
①	火起し	15～20分	低学年でも火を起こす工夫をしています。
②	あんざん編み体験と衣装の試着	15～20分	やり方さえマスターすれば簡単です。装飾品を身に付けて写真撮影もできます。
③	あんざん編みでコースター作り	60分～	製品に仕上げ、持って帰れます。
④	土器で炊飯	60分～	赤米を混ぜたご飯を炊きます。
⑤	どんぐりクッキー作り	60分～	どんぐり粉、卵、山芋等を使用しますのでアレルギーに気を付けて下さい。
⑥	土器に文様を付ける	15～20分	様々な原体により文様を施せます。
⑦	石器の切れ味体験	15～20分	手を切らないように注意。
⑧	石器作り	90分～	勾玉や石包丁が中心です。
⑨	土器作り	90分～	本物の土器を観察しながら作ります。
⑩	竪穴住居作り	1日	汚れてもよい靴と動きやすい服装を準備して下さい。

D. 考古学に挑戦

	体 験	時間(めやす)	備 考
①	土器の復元	15～20分	本物の土器で完全な形にします。
②	拓本(墨で文様をうつし取る)	60分～	丁寧に仕上げ、持って帰れます。
③	発掘体験	半日	汚れてもよい靴と動きやすい服装を準備して下さい。

<実施要項>

- ・当研究所出前授業担当へ申し込んで下さい。
- ・基本的に無料ですが、粘土などの材料費は負担していただくことがあります。
- ・実施日時、時間など、その都度ご相談させていただきます。
- ・上記のほか、遺跡や遺物に関することならば、内容はご相談させていただきます。

<問い合わせ先>

財団法人京都市埋蔵文化財研究所

TEL (075) 415-0521

FAX (075) 431-3307

URL <http://www.kyoto-arc.or.jp>